２０２４年度
京都大学大学院農学研究科修士課程
社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 要 項

本研究科の修士課程は大学院設置基準にいう博士課程前期２年の課程です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、試験実施日や実施方法等を変更する可能性があります。その場合の変更内容は、本研究科ホームページから告知します。

１．出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時に企業・官公庁・研究機関等に在職し、入学後もその身分を有する者。

(1) 大学を卒業した者
(2) 学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者
(3) 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者
(5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8) 昭和２８年文部省告示第５号をもって文部科学大臣の指定した者
(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達したもの

※上記(9)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければなりません。
この資格で本年度出願する者は、**農学研究科大学院教務掛（以下、大学院教務掛）**の窓口へ申し出てください。

２．募集人員及び学力試験科目等

(1) 募 集 人 員

専攻の概要については、別添**「農学研究科概要」**を参照してください。

専攻間の併願はできません。

専　　攻	募　集　専　門　種　目	募集人員
森林科学	森林・人間関係学、熱帯林環境学、森林生態学、森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、山地保全学、森林水文学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、複合材料化学、生物材料化学、森林生化学、森林情報学、森林育成学、材料生物学、循環材料創成学、居住圏環境共生学、木質構造科学	若　干　名
地域環境科学	比較農業論、熱帯農業生態学、土壌学、生態情報開発学、施設機能工学、水資源利用工学、水環境工学、農村計画学、農業システム工学、フィールドロボティクス、生物センシング工学	
生物資源経済学	農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料・環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論	

(2) 学力試験科目

(ｲ) 専門科目　(1)・(2)	別添**「専門科目出題説明」を参照してください。**
(ﾛ)　英　語	提出されたTOEFL等の英語スコアを換算して採点します。 ※英語を母語とする者及び母語とはしないが英語で大学教育を受けた者は、英語試験を免除することがありますので、６月２１日（水）までに大学院教務掛へ問い合わせてください。
(ﾊ)　面　接	面接を課します。

(3) 入学者選抜方法

① 入学者選抜は、出願書類の内容及び学力試験の成績により行います。
② 学力試験の各科目については、それぞれに合格基準を設けており、合格するためには全科目においてその基準を満たす必要があります。
③ 志望する専門種目の志願者が多い場合は、当該専攻の合格最低点を上回る得点であっても、不合格となる場合があります。
④ 森林科学専攻は、英語の成績が出願要件に達した受験者に関しては、その後の選考過程で英語の成績を使用しないで、専門科目・面接の成績を総合的に勘案し、合格者を決定します。
地域環境科学専攻および生物資源経済学専攻は、専門科目・英語・面接の成績を総合的に勘案し、合格者を決定します。

３．出 願 書 類

下記の出願書類(1)、(2)、(7)、(9)の様式は、本研究科ホームページよりダウンロードし、各自で印刷した用紙（A4サイズ）を出願書類として使用してください。

(1) 入　学　願　書	所定の用紙に、必要事項を本人が明記してください。 半身正面向きで出願前３カ月以内に単身撮影した同一の写真（無背景）を、「写真票」及び「受験票」の所定欄に貼ってください。
(2) 入学検定料収納証明書 （所定台紙に貼付）	入学検定料　３０，０００円 振込期間　２０２３年６月１９日（月）～７月７日（金） 【期間外取扱不可】 （納入方法等） 京都大学 EX 決済サービスにより上記の期間に入学検定料を納入してください。 ①詳細は別紙「入学検定料支払方法」に従って納入してください。 ②入学検定料の他に支払い手数料（６５０ 円）が必要となります。 ③必ず「納入者名」が 出願者本人の氏名であることを確認のうえ納入してください。（出願者以外の名義で納入された場合、願書を受理できない可能性があります。） ④納入後、収納証明書を印刷し、「入学検定料収納証明書貼付台紙」に貼り付けて提出してください。 ⑤願書受理後の入学検定料は、返還できませんのでご注意ください。 （入学検定料の免除） ２０１１年３月に発生した東日本大震災、２０１６年４月に発生した熊本地震、２０１８年７月豪雨、２０１８年９月に発生した北海道胆振東部地震、令和元年台風第１９号による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、６月２１日（水）までに、大学院教務掛まで問い合わせてください。
(3)英語力検定試験成績表の原本	出願開始日から２年前（２０２１年７月３日）以降に受験したTOEFL iBTまたはIELTSのスコアの原本を提出してください。 TOEFL iBTスコアが55点以上、IELTSスコアが4.5以上のうち、少なくとも１つの要件を満たす場合に出願が可能です。 スコア提出の詳細は、下記の「TOEFL等スコア（TOEFL iBT、IELTS）の提出に関する注意事項」を参照してください。 スコアシートは受験票送付時に返却します。

(4)成績証明書および卒業（見込）証明書	・出身大学所定のもの ・出身大学以外の大学で取得した単位が認定されている場合には、単位を取得した大学の成績証明書も提出すること。
(5) 卒業論文概要書又は実験、実習、演習概要書	Ａ４横書き1,000字以内で作成し、志望専攻・専門種目・氏名を付記してください。（様式自由）
(6)受験承諾書	所属長の受験承諾書を提出してください。（様式自由）
(7)在職期間証明書	所定の用紙を使用してください。
(8)研究等実績調書	在職中に行った研究分野に関連する研究又は活動実績を記載してください。（様式自由）
(9)あて名票 受験票送付用封筒 合格通知送付用封筒	・あて名票は所定の用紙を使用してください。 ・あて名票の「①受験票送付用」及び「②合格通知送付用」を長形３号封筒（120 mm× 235 mm）に貼り付けてください。封筒は各自で準備してください。 ・受験票送付用封筒には２５４円分の切手（特定記録料金）を貼ってください。

注１．出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書を提出してください。

TOEFL 等スコア（TOEFL iBT、IELTS）の提出に関する注意事項

１．各自で TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）（以下、IELTS）の申し込み手続きを行い、受験してください。TOEFL iBT および IELTS テストの受験に必要な費用は各自で負担してください。

２.TOEFL iBT の Test Taker Score Report の原本または IELTS の公式成績証明書の原本を出願時に提出してください。スコアの公開が通常より数週間遅れる場合がありますので、余裕をもって受験してください。
なお、原本が出願時に間に合わない場合は、その旨を明記した書面及び WEB 上のスコア確認ページのコピーを提出してください。原本が交付され次第、原本とその返送用封筒（長形３号の封筒に５１９円分の切手を貼り、返送先住所を記載したもの）を２０２３年８月８日（火）必着で持参又は郵送「書留」により提出してください（持参の場合返送用封筒は不要です。）。２０２３年８月８日（火）までに原本が間に合わない場合は、同日までに大学院教務掛へ連絡してください(℡．075－753－6014)。

３．提出したスコアの原本は受験票とともに７月下旬に受験者に返送します。

４．TOEFL iBT、IELTS をあわせて複数回受験している場合、そのうちいずれか１つのスコアを提出してください。なお、TOEFL iBT のスコアは、MyBest スコアは活用せず、Test Date スコアを活用します。

５．出願開始日から２年前（２０２３年８月実施の入試の場合は、２０２１年７月３日）以降に受験した TOEFL iBT、IELTS テストのスコアに限り提出が可能です。団体試験用の TOEFL ITP のスコアは受け付けないので注意してください。

６．TOEFL iBT、IELTS 等のスコアについて、不正が判明した場合は失格とし、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消します。

７．提出したスコアの取扱いが専攻によって異なりますので、２．(3)入学者選抜方法④を必ず確認してください。

４．出 願 手 続

(1) 出願者は、前記の出願書類を出願期間中に提出してください。
なお、郵送の場合は、封筒の表に**「修士課程社会人特別選抜入学願書」**と朱書し、必ず**「書留」**にしてください。

提出先：〒606－8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛

(2) 出願資格(9)により出願する者は、次の書類を２０２３年６月２１日（水）までに**大学院教務掛**に提出し、指示に従ってください。
① 出願資格審査申請書（所定用紙）
② 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
③ 業績調書（所定用紙）
なお、口頭試問により出願資格審査を行いますが、日時についてはおって連絡します。

(3) 障害等のある者で、受験上若しくは修学にあたっての配慮を希望する場合は、事前に**大学院教務掛**に申し出てください。

５．願 書 受 理 期 間

２０２３年７月３日（月）から７月７日（金）　午後５時まで（必着）。
郵送の場合も含め、一切の理由を問わず、期限後の出願は受理しません。
ただし、２０２３年７月５日（水）以前の発信局消印のある書留速達便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

６．試験日程及び場所

月　　日	時　　間	試　験　科　目	場　　所
８月２３日（水）	10:00～11:30	専門科目(1)	京都大学農学研究科 京都市左京区 北白川追分町 （市バス「京大農学部前」下車）
	13:30～15:00	専門科目(2)	
８月２４日（木）	10:00～17:00	面接※1	
８月２５日（金）	予備日※2		

※１　面接時間・場所等の詳細については、８月２２日（火）午前９時に**本研究科ホームページに掲載して**お知らせします。

※２　台風接近時等、試験が予定通り実施できない場合、予備日に試験を実施します。

７．合 格 者 発 表

２０２３年９月１日（金）正午頃、本研究科ホームページに発表し、同時に合格者へ合格通書を発送します。電話による照会には一切応じられません。
http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/admission/div_adm_info

８．入学料及び授業料

入　学　料　　２８２，０００円
授　業　料　前期分　２６７，９００円　（年額５３５，８００円）
※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
※ 入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から改定された新入学料及び新授業料が適用されます。

９．注 意 事 項

(1) 専門種目の選定にあたっては、研究科概要を参照のうえ、**必ず事前に志望する専門種目の教員と連絡を取ってください。**
なお、専門種目の選定にあたって不明な点があれば、**大学院教務掛**にお問い合わせください。(℡．075－753－6014)
(2) 願書等の訂正は、該当部分を＝線で抹消し、その上部に記入してください。
(3) 試験室や試験に関する指示は、８月２２日（火）午前９時に**本研究科ホームページ**に掲載するので、必ず見ておいてください。
(4) その他
(ｲ) 本研究科修士課程では、(1)フルタイムの有職者、(2)育児又は親族の介護を行う必要がある者、(3)身体等に障害を有する者を対象に、標準修業年限(修士課程２年)を超えて一定の期間(上限４年間)にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを認める長期履修制度を導入しています。希望者は、詳細について大学院教務掛にお問い合わせください。(℡．075－753－6014)
(ﾛ) 出願手続後は、いかなる事情があっても出願書類記載事項の書き換えはできません。また、入学検定料の払い戻しはできません。
(ﾊ) ８月１日（火）までに受験票が届かない場合は、大学院教務掛にお問い合わせください。(℡．075－753－6014)
(ﾆ) 出願者に対する宿泊施設などの紹介・斡旋等は行っていません。
(5) 個人情報の取扱いについて
出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、①入

学試験の実施、②入学手続き、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の目的において利用します。

(6) 台風接近時等の学力試験の実施について

台風等により学力試験日程への影響が懸念される場合は、本研究科ホームページから実施についての告知を行います。

２０２３年６月

京都大学大学院農学研究科

修士課程社会人特別選抜

２０２４年度京都大学大学院農学研究科修士課程入学試験
専 門 科 目 出 題 説 明

専攻	出　　題　　説　　明
森林科学	**専門科目**(1)は、森林科学一般から出題する。 ※森林科学一般の問題は、森林科学の基礎的内容に関する共通問題である。 **専門科目**(2)は、志望する各専門種目から出題する。
地域環境科学	**専門科目**(1)は、地域環境科学一般から出題する。 **専門科目**(2)は、志望する各専門種目から出題する。
生物資源経済学	**専門科目**(1)は、生物資源経済学一般から出題する。 ※生物資源経済学一般の問題は、生物資源経済学に関わる小論文形式および基礎概念に関する共通問題である。 **専門科目**(2)は、志望する各専門種目から出題する。

コンビニ・クレジットカードでの入学検定料支払方法

コンビニ（セブン-イレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ）、クレジットカード、金融機関ATM、ネットバンキングを利用して24時間いつでも支払が可能です。

1 Webから申し込み

以下のURLにアクセスし、一覧から本学を選択後、画面の指示に従って申込みに必要な事項を入力してください。

https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/agr/

2 申込内容の確認

受付番号（受験番号ではありません）と**お支払に必要な番号**が表示されるのでメモするか画面を印刷してください。
なお、個人情報入力画面で入力したメールアドレスとパスワードは収納証明書を表示するときに利用します。

3 お支払い

お支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

コンビニエンスストア（30万円未満のお支払い）

セブンイレブン	ローソン ミニストップ (Loppi)	ファミリーマート (マルチコピー機)	セイコーマート	デイリーヤマザキ
レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えるお支払ください。 ※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。 マルチコピー機は使用しません	各種サービス メニュー ↓ 各種代金・インターネット受付・スマートピットのお支払い ↓ 各種代金お支払い ↓ マルチペイメントサービス ↓ 「お客様番号」を入力 ↓ 「確認番号」を入力 出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて 入学検定料を現金にて支払う	代金支払い/チャージ （コンビニでお支払い Payment/Charge） ↓ 番号入力画面に進む ↓ 「お客様番号」を入力 ↓ 「確認番号」を入力 ↓ 注意事項を確認 出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて 入学検定料を現金にて支払う	レジで店員に 「インターネット支払い」 と伝える ↓ 「オンライン決済番号」を入力 レジにて入学検定料を現金にて支払う	レジで店員に 「オンライン決済」 と伝える ↓ 「オンライン決済番号」を入力 レジにて入学検定料を現金にて支払う

クレジットカード

本人確認のため、クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、支払前にクレジットカードを準備してください。
支払い方法は一括払いのみです。
クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

金融機関ATM【Pay-easy】

以下の金融機関でPay-easyマークの付いているATMでお支払いができます。
1回のお申込みにつき、現金では10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満のお支払いが可能です。
（利用可能な金融機関の一例）
・ゆうちょ銀行
・みずほ銀行
・りそな銀行/埼玉りそな銀行
■支払い可能金融機関は下記ページの「ATM利用可能一覧」を確認してください。
https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html

「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択
↓
「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力
↓
現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う

ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。
また、楽天銀行、PayPay銀行、auじぶん銀行、住信ＳＢＩネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

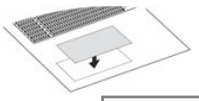
お支払いおよび申込内容のご確認画面を開く
↓
[ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す
↓
ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする

お支払い可能なコンビニエンスストア・金融機関は変更する場合があります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

4 出願書類への収納証明書貼付

お支払いおよび申込内容のご確認画面から収納証明書を印刷して、必要な部分を切り取り志願票の所定の位置に貼付してください。必要書類と同様に郵送してください。

①必要な部分を切り取り、



②出願書類の所定の場所へ貼付する。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

農学研究科における入学者受入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

農学とは、人類が地球上でいかに豊かで持続的な営みを確立して存在できるか、という最も重要で根源的な課題に立ち向かい、最先端の基礎研究によって次の時代を支える「知の基盤」を築く学問領域である。農学研究科では、「生命・食料・環境」をキーワードとして 21 世紀における地球規模の重要課題である、資源、エネルギー、地域社会、情報、生活、健康、文化等にかかわる様々な課題に取り組んでいる。農学研究科は 7 専攻から構成され、それぞれ異なるアプローチから人類の生存にかかわるこれらの課題に対処し、人類の福祉の向上と持続的な繁栄に貢献することを目指した農学研究と人材育成を行っている。したがって、本研究科では、専門分野を学ぶために以下のような資質を持つ学生を求める。

1.幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、かつ高い倫理性と強固な責任感を身につけた人。
2.農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人。
3.研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲と研究遂行能力のある人。
4.国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人。

農学研究科修士課程

上記のポリシーを実現するため、本研究科修士課程では、英語や各専攻の専門知識を評価する筆記試験と面接とを組み合わせた入学試験を、一般学生および社会人に対して実施する。また、私費外国人留学生に対しては、専門科目の筆記試験と面接により入学試験を実施する。いずれの場合も、評価方法の詳細については、募集要項に明示する。

なお、各専攻の専門知識の筆記試験と面接については、以下に掲げる各専攻の人物像のもとで入学試験を実施する。

【農学専攻】

農学専攻は、人類が直面している食料・環境問題や地域固有の農業問題の解決に向けて、高度な専門知識と学際統合能力をもつ人材育成および新しい技術の創成を目標に、作物の生産と利用にかかわる分子・細胞レベルから個体・群落・地域生態系レベルに至る農学の幅広い領域について教育・研究を行っている。

課題解決に必要な専門基礎知識と研究手法を修得させ、さらにそれらを活用して研究論文を作成することのできる高度な専門家の育成を目指す。それに求められる人物像は次のようである。

１．学部での専門にかかわらず、世界の食料・環境問題および地域固有の農業問題に強い関心をもち、その問題解決に果敢にチャレンジする意欲をもっている人。
２．農学関連諸科学の十分な知識をもち、かつ国際化に対応し得る語学力を備えている人。
３．新しい知識の吸収意欲が高く、かつそれらの知識を科学上の発見、新技術の創造および問題解決に結びつけようとする意識の高い人。

【森林科学専攻】

森林科学専攻は、人類の健康かつ快適な生活環境を、森林を中心とする多くの生物との共棲によって維持し増進することを目指している。研究対象を空間的視点で捉えると、人間が日常的に利用するエネルギー、衣料、家具、住居や町並みなどの比較的狭い居住環境から、都市、農地、里山などが適度に連携し、新鮮な大気と水、風景を備えた地域的環境、そして地球規模での環境保全とバイオマス資源利用による地球温暖化の防止など、関係する対象は非常に広範である。そこで教育研究の背景となる学問領域は、高度な自然科学はもとより、人文社会科学的観点も重要な意味を持つ。また研究手法も海外を含めたフィールド研究、精緻なラボラトリー研究、情報処理など多岐にわたる。

これら広範な学問領域や研究手法を参考にして、研究課題を自ら設定できる高い意識と学力を有する人材を、出身大学や学部、学科の枠を超えて募集する。

【応用生命科学専攻】

応用生命科学専攻では、微生物から植物やヒトにわたる広い範囲の生物を対象とし、以下の観点から教育・研究をおこなう。

１．生命現象を物理化学・有機化学・生化学・分子生物学を基にして理解し発展させる。
２．微生物・植物・動物を対象とし、生物機能の共通性と多様性を理解し発展させる。
３．研究を通して、研究アプローチの仕方、論理的思考を修得するとともに、独創性を養う。
４．新たな発見・発明を応用研究に発展させ、研究の成果を社会に還元する。

教育においては積極的な自学・自習を尊重し、生命現象の原理の理解とともに、その原理に基づいて発酵・食品・化学工業・食料生産・環境保全・医療などの現場で生じる様々な課題を解決し、その成果を新しいバイオテクノロジーやバイオサイエンスとして展開できる研究者・技術者を育成する。

このような教育を受け止めることのできる英語力および物理化学、有機化学、生化学、微生物学、植物科学分野の学力を備え、明確で強い動機を有する人材を幅広い分野から募集する。

【応用生物科学専攻】

応用生物科学専攻は、農林生物学、水産学、畜産学及び熱帯農学等を統合した多様な研究領域からなっており、21 世紀に直面するであろう資源生物、食料、健康、環境にかかわる新しい諸問題に対し、学際的かつグローバルに対応できる教育・研究拠点を構築することを基本理念としている。本専攻では、陸地ならびに海洋に生息する微生物から動植物にわたる多様な生物とそれを取りまく環境を対象に、それらの利用・創出・保存・保全について、分子から個体、さらには生態系レベルに至る幅広い視点から教育・研究を行い、従来の枠にとらわれない学際的な取り組みができる人材を育成することを目標としている。

この目標の実現に向けて、修士課程では急速に進みつつある生物科学の新しい学問領域にチャレンジしようという意欲ある学生を広く募集する。大きな夢を創る科学者になりたい人、その夢

を実現する先端技術者になりたい人を歓迎する。

【地域環境科学専攻】

人類は地球上のそれぞれの地域に特有な自然環境に対応しながら生活している。地域環境科学専攻は、これからも人類が自然環境を形作る構成要素と共存しつつ、生産・生活活動を望ましい姿でともに発展させるための研究を志向している。そのために、生物・生態系の研究を行うグループと地域環境工学研究グループが相互に協力しながら、食料生産と環境保全の両面を視野に入れた学際的・国際的研究を行っている。よって、所属分野以外の講義や演習も履修することを義務づけている。

所属分野に関する専門的知識と技術の習得および将来の基礎となる研究を目指すだけでなく、幅広い知見を身につけて社会で活動することを志す人を求める。本専攻は地球上のさまざまな地域と、さまざまな生物・環境を研究対象としており、それまで修得した学問領域にこだわらず、幅広い視野を築くことを目指す人を歓迎する。

【生物資源経済学専攻】

望ましい人類の発展は、世界の国家間のまた人間相互の協力や社会的・経済的な調整の仕組みに大きく依存する。現代社会では、めざましい科学・技術の進歩のなかで、先進国の富や食料過剰と発展途上国の貧困が併存するとともに、日本のように先進国でも危機的なほどに食料自給率が低下している国がある。そのなかで環境問題や地域社会問題、食品安全問題が発生している。20 世紀に築かれた、科学、技術、資源の利用のあり方を決める経済思想や貿易をはじめとする国際的なルール、それにもとづく国内外の社会的、経済的、経営的な制度やシステムがそのような状態をもたらしており、現在、その根元的な見直しが求められている。本専攻は、経済学をベースに経営学、社会学、歴史学、政治学などの理論をもとに、このような制度およびシステムのかかえる問題の解明とあらたなシステムや政策の開発にあたることを課題としている。

本専攻では、このような現代社会の直面する課題に果敢に挑戦し、新たな視野を切り開く人材を育てることを目標としている。修士課程、博士課程を通して、研究者を育成することを主としながら、人文・社会科学を基礎にした分析的・創造的能力をもって行政、農業関連機関、企業などで高度専門的な仕事にあたる人を育てる。

入学希望者は、既存理論を十分に習得していることが必要であるが、それにとらわれず、関連領域の幅広い研究成果を深く吸収しつつ、現実社会のかかえる問題に肉迫し、それを解明しうる新たな理論を構築しようとする意志をもつ人を求める。または、そのような理論を背景に政策的提言や高度専門的な仕事をとおして社会に貢献することに強い意欲をもつ人を求める。

【食品生物科学専攻】

食品にかかわる研究分野は益々広範かつ学際的になっている。食品に関連する産業規模の巨大化に加えて、食に内在する課題も多岐に渉っている。飢餓に直面する社会がある一方で、飽食が故に陥る疾病が蔓延する社会もある。わが国では、伝統的な食生活が崩壊の危機に瀕しており、

また、食糧の自給率と安全性は緊急の課題である。国民の健康向上を目指して、医学、薬学とともに食品科学が重要な貢献をすべきである。

以上の諸課題の解決には、新たな食品研究基盤の構築が必要である。すなわち、食品のみを対象とするのでなく、「人間と環境と食」の相互作用に関する深い理解が求められる。本「食品生物科学」専攻は、食にかかわる広範な問題を根源から捉え、対応できる人材育成とその基盤となる研究開発を目的として、平成 13 年 4 月に発足した。食品生物科学に関して、専門的教育と先端的な研究体制を整備して、教育・研究にあたっている。生命科学、生物学、有機化学、生化学、遺伝子生物学、食品化学、化学工学、酵素化学、物性科学、栄養学、健康科学、運動科学、免疫学、生理学、微生物・発酵学、味覚感覚学、実験心理学、動物行動学などの研究分野を体系化し、食に取り組むための新たな学問の構築を試みており、未来の研究をリードしていくことに重点をおいている。目的遂行のため、個別の特色をもつ「食品生命科学」、「食品健康科学」、「食品生産工学」の 3 講座を設置している。

「食品生物科学」に対し充分な意欲をもって挑戦しようという学生を、出身学部、学科の枠にとらわれることなく募集する。大きな夢を創る科学者になりたい人、その夢を実現する先端技術者になりたい人、食の科学・技術と夢を将来に継承することに興味をもつ人を歓迎する。

2023年度京都大学大学院農学研究科
修 士 課 程 入 学 試 験 結 果 の 概 要

専　　攻	募　集 区　分	入 学 定 員	出 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入学辞 退者数	入 学 者 数
農学	第一次	33	35	34	23	0	26
	社会人		実施せず				
	第二次		2	2	2		
	留学生	若干名	1	1	1		
森林科学	第一次	58	62	60	54	1	59
	社会人		0	0	0		
	第二次		2	2	2		
	留学生	若干名	5	5	4		
応用生命科学	第一次	63	60	60	54	4	51
	社会人		実施せず				
	第二次		1	1	1		
	留学生	若干名	0	0	0		
応用生物科学	第一次	52	72	69	64	1	63
	社会人		0	0	0		
	第二次		実施せず				
	留学生	若干名	1	1	0		
地域環境科学	第一次	40	49	48	41	1	44
	社会人		0	0	0		
	第二次		3	3	3		
	留学生	若干名	1	1	1		
生物資源経済学	第一次	24	19	18	12	0	12
	社会人		0	0	0		
	第二次		0	0	0		
	留学生	若干名	1	1	0		
食品生物科学	第一次	33	37	37	32	0	34
	社会人		実施せず				
	第二次		4	4	2		
	留学生	若干名	0	0	0		
合　　計	第一次	303	334	326	280	7	289
	社会人		0	0	0		
	第二次		12	12	10		
	留学生	若干名	9	9	6		

（注）　募集区分欄の「第一次」は第一次学生募集に係る入学試験(2022年8月に実施)
「第二次」は第二次学生募集に係る入学試験（2023年1月に実施）
「留学生」は私費外国人留学生特別選抜入学試験(2023年1月に実施)
とをそれぞれ示す。